

平成 27年 9月 15日

平成27年度水道工事イメージアップ取組内容説明書

1 審査部門			
2 対象工事	工事件名 (工期)	杉並区下井草四丁目12番地先から同区下井草二丁目12番地先間 配水小管布設替工事 (平成26年10月29日から平成27年12月2日まで 225日間)	
	受注業者	福山建設株式会社(現場代理人:官野 次夫)	
	担当部署	東京水道サービス株式会社 施設整備部 工事監理第二課 (代表:業務責任者 榎元 康生 監督員 中村 卓也)	
3 実施状況	取組項目	取組内容(受注者記入)	備考
	安全で円滑な工事の施行に当たっての適切な住民対応	安全で円滑な工事の施工とは、日頃からの住民対応の積み重ねによって生まれると考え、次の2点を実行しました。 1. 施工範囲内のお客様には、できるだけお客様に直接会って工事の説明を行い、工事の理解を得るよう時間をかけて周知しました。また、施工中は、週間工程表を作成し、毎週木曜日に、翌週の作業内容を記載したビラを配布し、トラブルの無いように心掛けました。 2. 余った材料を用いて、地先の特にご高齢の方がいるお宅のコンクリート舗装部を補修したり、積極的にコミュニケーションを取ることで円滑な工事の施工が出来るよう取組みました。日々のコミュニケーションの積み重ねにより地先の住民の方から直筆のお手紙を頂きました。	4ページ 5・6ページ
	地域住民が理解しやすい工事の目的及び内容並びに「タップウォータープロジェクト」をはじめとした水道事業のPR	1. 少しでも多くの地域の皆さんに工事内容の理解や関心を持って頂く為に、工事の基本的な情報だけでなく、工事の目的や水道工事の流れを「水滴君、みずたまちゃん」が説明するようなレイアウトにすることで、できるだけ多くの人の目にとまり、読んでもらえるようなPR用紙を作成し、出来る限り手渡しで配布しました。	7ページ
		2. 杉並区松ノ木中学校の生徒さんを迎えての現場見学会を行いました。耐震化工事の説明から、利根川水系高度浄水100%導入達成により、一層の水道水の安全性と環境、家計にやさしい点をPRすることが出来ました。	8ページ
		3. 背面に「水滴君、水玉ちゃん」と配水管工や重機監視員等の役割を記載したオリジナルの安全ベストを作製し、着用しました。「水滴君、水玉ちゃん」を入れることで水道工事をPRでき、役割を入れることで現場での役割を明確にできました。	9ページ
地域に配慮した積極的な環境対策	1. 施工の際、作業帯内の植栽をシートで養生して、汚れ・破損に細心の注意を払い施工しました。	10ページ	
	2. 地先の車両をシートで養生し、地域、住民に配慮した施工を心掛けました。	11ページ	
	3. 施工中は、道路の水洗いを徹底するのはもちろんのこと、水洗い後もスーパーを使用して毎日清掃を行い、常にきれいな現場清掃を心掛けました。 4. 夜間工事の際には低騒音のハイブリット投光機を使用し、排気ガス対策、騒音対策に努めました。 5. 地先への騒音に配慮し、斫り作業時等に防音壁を使用しました。	12ページ	
その他特筆すべき取組	1. 東日本大震災から丸4年を経過しましたが、東北・福島復興は遅々として進んでいません。今回、社会貢献の一環として、被災地の皆様に少しでも寄り添うことはできないかと、施工地域担当の杉並区区民生活部地域課に相談。杉並区と災害時相互援助協定を結んでいる南相馬市の社会福祉協議会を通じて、市内の二つの障がい者介護施設に電動車椅子をそれぞれ1台ずつ寄贈しました。また、合わせて施設の利用者の皆様に使っていただけるように介護用タオル(600本)を社員全員の復興応援メッセージを付け、お届けしました。これは、下井草地域の方々をはじめ、社内のメンバー・協力業者数社からの真心の品となっています。	13~17ページ	

※ 「実施状況」4項目で、該当する取組がない場合は、「取組内容」欄に「該当なし」と記入する。